

第14次 夕張市農業振興計画

令和5年度～令和7年度

令和5年5月
北海道夕張市

目 次

第 1	計画策定の意義	・ ・ ・ ・	1
第 2	夕張農業の現状と課題	・ ・ ・ ・	3
第 3	農業振興の指標	・ ・ ・ ・	6
第 4	農業振興施策の展開方向	・ ・ ・ ・	9
第 5	農業振興の推進施策と事業計画	・ ・ ・ ・	10
	事業総括表	・ ・ ・ ・	18

第1 計画策定の意義

1 夕張市農業振興計画の策定経過

本市は、昭和26年から平成18年まで、第1次から第11次に及ぶ農業振興計画を策定し、特色を生かした特産そ菜の産地づくりと収益性の高い農業の確立を図ってきた。

それらの計画における施策としては、農用地活用、土地基盤整備、地力増進、特産そ菜振興、営農改善、農業青年・女性対策、効率的な出荷・流通、加工施設整備等を展開し、積極的な農業振興を推進してきた。

一方、本市は第11次農業振興計画の完了年度にあたる平成18年に財政再建団体となったため、第12次農業振興計画の策定を見合わせ、それ以降は農業者等の要望に沿った国や道による補助事業の活用を進めてきた。

こうした中、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、平成28年3月に本市は、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むための基本目標と具体的な施策を定めた「第1期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略」を策定した。また、平成29年度からは企業版ふるさと納税を財源として、総合戦略に基づく農業振興に向けた事業実施が可能となったため、平成29年度からの3か年を計画期間とする第12次農業振興計画を策定した。

令和2年3月には、第1期の総合戦略の状況や社会経済状況の変化等を踏まえた「第2期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略」（以下、「第2期地方版総合戦略等」という。）を策定し、その中では第1期に引き続き、「農業者、農協、市の連携による産地力強化」を施策として掲げている。

第13次農業振興計画は、令和2年度から4年度までを計画期間とし、第2期地方版総合戦略等における施策の具体的な展開方向や事業計画を定め、本市農業の持続的発展に寄与してきたことから、令和5年度以降を対象とする新たな農業振興計画を策定する。

2 第14次夕張市農業振興計画の策定意義

本市農業は、その周りを取り巻く経済社会情勢の変化により、多くの課題に直面しているが、「夕張メロン生産を重点」とした農業を本市の最重要産業に位置づけ、更なる発展を目指すために必要となる施策の実施に向けて、夕張市農業振興条例に基づき、令和5年度から7年度を計画期間とする第14次夕張市農業振興計画を策定する。

また、本計画の策定にあたっては、「第2期地方版総合戦略等」（計画期間：令和2年度～6年度）及び夕張市農業協同組合が策定する「第13次農業振興農協事業3ヵ年計画」（計画期間：令和5年度～7年度）との連携を図るものとする。

第2 夕張農業の現状と課題

1 夕張農業の現状

(1) 耕地面積

耕地面積は、令和3年（2021年）で1,008ヘクタールと、近年ほぼ横ばいで推移している。

また、畑地転換を積極的に推進したことにより、耕地面積の9割以上が畑となっている。

(2) 農家戸数

農家戸数は、令和3年（2021年）で専業が108戸、第1種兼業と第2種兼業を含めた農家が116戸と、年々減少している。

また、平成28年（2016年）からの5か年で、農家の1割以上となる15戸の減少となっている。

(3) 農業生産

作付面積は、令和3年（2021年）で387ヘクタールと、農家戸数と同様に、年々減少している。

また、生産量と生産額も減少しており、それぞれ6,770トン、26億3千万円となっている。

(4) メロン生産

メロンの作付面積と生産量は、令和3年（2021年）でそれぞれ218ヘクタール、3,679トンと、年々減少しているが、農業全体の過半を占めている。

また、メロンの生産額は、22億7千万円となっており、農業全体に占める割合は減少傾向にあるが、86.5パーセントに達している。

■ 夕張農業の概要（耕地面積・農家戸数） 【単位：ha、戸】

区 分		H23	H28	R元	R2	R3
耕地面積	田	245	219	89	86	86
	畑	777	797	930	926	921
	合 計	1,022	1,016	1,019	1,012	1,008
農家戸数	専業	131	120	112	109	108
	第1種兼業	4	4	4	5	3
	第2種兼業	17	7	3	3	5
	合 計	152	131	119	117	116

資料：市「営農調査」

注) 耕地面積は単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

■ 夕張農業の概要（作付面積・生産量・生産額） 【単位：ha、ト、億円】

区 分		H23	H28	R元	R2	R3
農業生産	作付面積	604	536	486	479	387
	生産量	7,906	7,045	7,098	6,956	6,770
	生産額	26.9	28.6	26.2	25.8	26.3
うち メロン生産	作付面積	293	255	239	232	218
	生産量	4,595	4,138	4,070	3,795	3,679
	生産額	25.2	26.2	23.1	22.4	22.7

資料：市「農業生産額調査」

【参考】農家人口・農業従事者・鳥獣被害額 【単位：人、千円】

区 分		H23	H28	R元	R2	R3
農家人口		661	528	481	473	467
農業従事者		420	341	330	323	315
鳥獣被害額	エゾシカ	5,865	1,687	4,075	4,245	4,055
	カラス	1,150	1,721	3,920	3,926	4,066
	アライグマ	911	1,683	1,520	1,570	1,260
	その他	1,065	1,129	1,335	2,805	2,835
	合計	8,991	6,220	10,850	12,546	12,216

資料：市「営農調査」

2 夕張農業の課題

本市農業は、高齢化や後継者不足などにより農家戸数・農業人口が減少傾向にあることから、農業生産力の維持向上と活力ある農村形成に向けた取組を強化する必要があり、担い手等の育成・確保や付加価値の向上により、持続的で安定した、力強い、調和のとれた産地力強化を目指すことが求められている。

このため、本計画においては、次の4つの課題を中心に対処していく。

(1) 夕張メロンの安定生産とブランド維持

メロン作付面積が減少する中、今後も、農作業の一層の省力化や付加価値・生産性の向上など、夕張メロンの安定的な生産とブランドの維持に向けた計画的かつ効果的な農業生産基盤の整備等が求められている。

また、近年、大雪などによる自然災害が頻発・激甚化しており、防災・減災対策など、災害に強い農村づくりが求められている。

(2) 多様な担い手等の確保・定着

農家戸数、農家人口、農業従事者が減少傾向にある中、引き続き、意欲の高い優れた担い手の育成・確保が求められている。

また、労働力の確保に向けて、農業サポーターや外国人材など多様な人材が農業・農村で活躍できる環境づくりを進めることが求められている。

(3) 活力ある農村づくりの推進

農村では人口減少が進む中、その持続性を高めつつ、農業・農村の持つ多面的機能の発揮に向けた取組などを通じて、農業・農村に対する理解を深めていくことが求められている。

(4) 鳥獣被害対策の強化

近年、エゾシカやカラスなどによる農業被害が急激に増加する中、捕獲活動などの取組の強化が求められている。

第3 農業振興の指標

本市農業を持続的に発展させていくためには、夕張市、夕張市農業協同組合などの農業関係機関・団体、生産者が一体となって取り組んでいくことが重要となる。

こうしたことから、本計画における農業振興の指標（目標値）は、夕張市農業協同組合が策定する「第13次農業振興農協事業3ヵ年計画」に位置付けられた目標値を参考に設定する。

1 農家戸数と農家人口

本市の農業経営体の太宗を占める家族経営や地域農業の担い手となる期待の高まる農業法人など、多様な担い手が活躍する姿を示す指標として設定する。

■農家戸数 【単位：戸】

区分	専業	第1種兼業	第2種兼業	休農	計
現況（令和4年）	104	3	7	116	230
第14次目標（令和7年）	102	3	3	122	230

■農家人口 【単位：人】

区分	農家人口		計
	男	女	
現況（令和4年）	231	213	444
第14次目標（令和7年）	222	201	423

2 農業労働力人数

農業サポーターや外国人材など、農業を支える多様な人材が活躍する姿を示す指標として設定する。

■農業労働力人数 【単位：人】

区 分	実従事者	失業保険受給者	計	臨時雇
現 況（令和4年）	327	108	435	158
第14次目標（令和7年）	313	102	415	140

3 農用地面積と耕地面積

本市における貴重な財産である農業・農村が将来に引き継がれている姿を示す指標として設定する。

■農用地面積 【単位：ha】

区 分	耕地			採草放牧地	合 計
	田	畑	計		
現 況（令和4年）	86	921	1,008	5	1,013
第14次目標（令和7年）	83	924	1,008	5	1,013

注）耕地面積は単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない。

■耕地面積 【単位：ha】

区 分	田					
	作 付	転 作	実績参入	畦 畔	休耕地	計
現 況（令和4年）	12	26	10	8	31	86
第14次目標（令和7年）	12	23	10	8	31	83

区 分	畑		
	作 付	休耕地	計
現 況（令和4年）	332	589	921
第14次目標（令和7年）	327	598	924

注）単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

4 (農作物別) 作付面積と生産量

本市の主要作物である夕張メロンをはじめとした農作物の生産性を向上させることなどにより、持続的で生産性の高い農業が展開される姿を示す指標として設定する。

区分	現況(令和3年)			第14次目標(令和7年)		
	面積 (ha)	生産量 (t)	収量 (kg/10a)	面積 (ha)	生産量 (t)	収量 (kg/10a)
水稲	12	62	508	12	62	508
小麦	15	46		14	46	
豆類	1	2		2	2	
そば	6	3		6	3	
景観作物	2			3		
緑肥作物	88			103		
メロン	218	3,679	1,408	196	3,525	1,590
長芋	8	153	1,870	5	96	2,000
ほうれん草	6	46		6	47	
小松菜	2	75		2	31	
南瓜	3	39		3	35	
トマト	10	246	2,547	9	272	2,870
薬草	5	2		3	7	
その他	13			16		
合計	387			379		

第4 農業振興施策の展開方向

本市農業のこれまでの経過、現状と課題を踏まえ、目標年の指標達成に向けて、夕張市農業協同組合、夕張市農業委員会、夕張土地改良区などの農業関係機関・団体や生産者と連携しながら、次の4つの展開方向により農業振興施策を推進する。

1 夕張メロンの安定生産とブランド維持

夕張メロンを安定的に生産できるよう、農業生産基盤の整備や優良農地の確保と適切な利用等により、持続可能で生産性の高い農業の展開を目指す。

また、ブランド維持に向けて、夕張メロンの販売促進を効果的に行うため、広報活動への支援を推進する。

2 多様な担い手等の確保・定着

農業・農村に多様な担い手等が定着し活躍できるよう、農業経営体の経営安定・発展とともに、新規就農者をはじめとする農業経営を担う人材の確保・定着を目指す。

また、他産業と遜色のない誰にとっても働きやすい環境を整え、農業を支える多様な人材の受入れを推進する。

3 活力ある農村づくりの推進

本市の農業・農村を貴重な財産として育み、将来に引き継いでいくため、多面的機能の発揮などに向けて地域住民が一体となって進める、活力ある農村づくりを目指す。

4 鳥獣被害対策の強化

エゾシカなど鳥獣による農業被害の防止に向けて、捕獲活動や捕獲人材の育成など総合的な鳥獣被害対策の確立を目指す。

第5 農業振興の推進施策と事業計画

1 夕張メロンの安定生産とブランド維持

(1) 農業振興対策連携事業（夕張メロン生産安定対策支援事業）

夕張メロンは、高齢化や離農による規模の縮小、連作による品質や収量の低下などが生じており、作付規模の拡大や生産性の向上には多大な経費を要するため、夕張市農業協同組合が実施する生産者の負担軽減を図る取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

夕張市農業協同組合

ウ 事業内容

新設ハウスの設置、老朽化したハウスの更新、自動巻上機器の設置、被災したハウスの再建、客土や暗渠排水などの小規模な基盤整備を行う生産者の負担軽減に係る経費への支援として、市が各年度の予算の範囲で夕張市農業協同組合に補助

(2) 農業振興対策連携事業（花粉交配支援対策事業）

夕張メロンの生産に必須となる花粉交配用ミツバチは、近年の天候不順や運搬費等の高騰により、調達料金が値上がりしているため、夕張市農業協同組合が実施する生産者の負担軽減を図る取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

夕張市農業協同組合

ウ 事業内容

花粉交配用ミツバチを調達する夕張メロン生産者の負担軽減に係る経費への支援として、市が各年度の予算の範囲で夕張市農業協同組合に補助

(3) 農業振興対策連携事業（夕張メロンポスター作製費補助事業）

夕張メロンは地理的表示（G I）登録されており、引き続き、ブランド力を維持するため、夕張市農業協同組合が実施する夕張メロンの広報活動を支援する。

ア 事業実施期間

令和 5～7 年度

イ 事業実施主体

夕張市農業協同組合

ウ 事業内容

夕張メロンポスターの作製に係る経費への支援として、総事業費の 10 分の 3 を上限に市が各年度の予算の範囲で夕張市農業協同組合に補助

(4) 農業振興対策連携事業（農地・農村活性化対策事業）

近年、大雨等による自然災害が頻発・激甚化しており、農産物の安定生産や生産性向上（農地の透排水性向上）のため、夕張市農業振興協議会等が実施する防災・減災を図る取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和 5～7 年度

イ 事業実施主体

夕張市農業振興協議会等

ウ 事業内容

排水改良、農道・用排水路の維持管理及び修繕、農地の透排水性改善等に係る経費への支援として、市が各年度の予算の範囲で夕張市農業振興協議会等に定額補助

(5) 農業振興対策連携事業（優良農地維持保全対策事業）

生産者の高齢化等により離農が進んでいることから、今後、適切な管理が行われずに遊休化する農地の増加が懸念されるため、農事組合等が実施する優良な農地の維持・保全を図る取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

農事組合その他生産者が組織する団体

ウ 事業内容

所有者が自ら管理できなくなった農地の管理耕起や除草作業等に係る経費への支援として、市が各年度の予算の範囲で農事組合等に定額補助

(6) 経営体育成支援事業

生産者の高齢化等により、農地が適切に利用されなくなることが懸念されており、将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現に向けて、認定農業者等が農業用機械・施設の導入による生産の効率化等を図る取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

認定農業者、認定就農者等

ウ 事業内容

融資を受けて導入する農業用機械・施設等に係る経費への支援として、事業費の10分の3（災害対策は2分の1）を上限として、各年度の予算の範囲で認定農業者等に補助

(7) 遊休地有効利用対策事業

農作物が作付けされずに遊休化している農地の地力増進を図り、夕張メロンの作付代替地として利用するため、生産者が蜜源となる緑肥作物を作付する取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

遊休農地に蜜源確保のために緑肥作物を作付する夕張メロン生産者

ウ 事業内容

農作物が作付けされずに遊休化している農地に蜜源となる白クローバーを作付けるために必要となる種子代等の経費への支援として、市が各年度の予算の範囲で夕張メロン生産者に定額補助

(8) その他推進・検討すべき施策

ア GAP 推進

食品安全や環境保全、労働安全等に資する農業生産工程管理（GAP）について、引き続き、取組の拡大・定着を推進する。

イ スマート農業

自動換気機器の導入などスマート農業技術の着実な導入を促進する。

ウ 地域計画

生産者の高齢化等により離農が進み、農地が適切に利用されなくなることが懸念されるため、農地の集約等の実現に向けて地域の関係者が一体となって話し合いを持ち、地域計画の策定を推進する。

2 多様な担い手等の確保・定着

(1) 農業振興対策連携事業（雇用労働力確保緊急対策事業）

夕張メロンは生産農家の減少及び高齢化が進行しており、農業における労働力確保が必要なため、夕張市農業振興協議会（事務局：夕張市農業協同組合、構成員：夕張市、夕張市農業委員会、夕張土地改良区、夕張メロン組合、J A夕張市外国人実習生適正運営協議会、地域創生部会、農業改良普及センター）が実施する雇用労働力の確保を図る取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

夕張市農業振興協議会

ウ 事業内容

夕張農業サポーターの全国募集、住環境整備（夕張農業サポーター・外国人材等向け）、夕張農業サポーターの制度運用等に係る経費への支援として、市が各年度の予算の範囲で夕張市農業振興協議会に定額補助

(2) 新規就農者育成総合対策事業

次世代を担う農業者の育成・確保や農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、認定新規就農者が実施する経営発展の取組や資金面を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

認定新規就農者

ウ 事業内容

経営発展のための農業用機械・施設等の導入に係る経費への支援としての補助、経営の安定化への支援としての資金助成などを市が各年度の予算の範囲で認定新規就農者に実施

(3) その他推進・検討すべき施策

ア 働きやすい環境づくり

農業経営体が営農に必要な人材を持続的に確保できるようにするため、労働時間の管理や休日・休憩の確保、家族経営協定の締結による就業条件の整備など、誰もがやりがいがあり、他産業と遜色のない働きやすい環境づくりを推進する。

イ 多様な人材の受入れ

農業を支える雇用人材を確保するため、他産業や異業種との連携による多様な人材や外国人材の円滑な受入に向けた取組を推進する。

ウ 女性参画

農業委員など農業関係機関・団体への女性登用を推進する。

エ 経営継承

卓越した技術や優良な農地を次世代の担い手に受け継ぐため、親子間等による経営継承の取組を推進する。

オ 法人化

経営管理の高度化や安定的な雇用の確保などに対応するため、農業の法人化を推進する。

カ 企業の農業参入

農業界と産業界の連携による本市農業と農業経営の発展に向け、民間企業の農業参入を推進する。

3 活力ある農村づくりの推進

(1) 多面的機能支払交付金事業

過疎化や高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域資源の保全管理に対する担い手農家への負担の増大が懸念されるため、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるよう、地域資源保全協力会等の活動組織が実施する地域の共同活動を継続するための取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

地域資源保全協力会等

ウ 事業内容

地域共同による農地、水路、農道、ため池などの地域資源の基礎的な保全管理活動、適切な保全管理のための推進活動、質的な向上を図る共同活動への支援として、市が各年度の予算の範囲で活動組織等に保全すべき農地面積に応じて定額補助

(2) その他推進・検討すべき施策

ア 活動組織の広域化

組織間連携による共同活動の継続や事務作業の集約化による各活動組織の負担軽減等を図るため、夕張市広域化準備委員会における組織運営方針の検討を行うなど、広域活動組織の設立を推進する。

4 鳥獣被害対策の強化

(1) 鳥獣被害防止総合対策事業

エゾシカやカラス等による農業被害に対応するため、平成26年度から本市を含む近隣の1市4町（夕張市・栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）による南空知広域有害鳥獣害防止対策協議会を設立し、南空知広域鳥獣被害防止対策を周辺地域が連携して実施している。

引き続き、本市の被害状況等に対応した効果的な取組を推進する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

南空知広域鳥獣被害防止対策協議会

ウ 事業内容

南空知広域鳥獣被害防止対策協議会が策定した鳥獣被害防止計画に基づき、夕張市農業協同組合、北海道猟友会夕張支部、北海道森林管理局空知森林管理署、生産者等と連携しながら、有害鳥獣の捕獲や緩衝帯の設置による生息環境管理等の取組を推進

(2) 夕張市鳥獣被害防止対策事業（捕獲促進・人材育成対策）

エゾシカやカラス等による農業被害が増加する中、捕獲従事者の高齢化が進行しており、捕獲の促進や捕獲従事者の育成・確保に向けて、北海道猟友会夕張支部が実施する農業被害を防止するための取組を支援する。

ア 事業実施期間

令和5～7年度

イ 事業実施主体

一般社団法人北海道猟友会夕張支部

ウ 事業内容

捕獲活動、新規猟銃取得等に係る経費への支援として、市が各年度の予算の範囲で北海道猟友会夕張支部に補助

■事業総括表

持続的で安定した、力強い、調和のとれた産地力強化に向けて、次の事業を実施する。

施策の展開方向	事業名	事業実施期間	事業実施主体	事業概要
夕張メロンの安定生産とブランド維持	夕張メロン生産安定対策支援事業	R5～R7	農業協同組合	生産性の向上等に係る負担軽減を図る取組への支援
	花粉交配支援対策事業	R5～R7	農業協同組合	ミツバチ調達に係る負担軽減を図る取組への支援
	夕張メロンポスター作製費補助事業	R5～R7	農業協同組合	夕張メロンの広報活動への支援
	農地・農村活性化対策事業	R5～R7	農業振興協議会など	防災・減災を図る取組を支援
	優良農地維持保全対策事業	R5～R7	農事組合など	優良な農地の維持・保全を図る取組を支援
	経営体育成支援事業	R5～R7	認定農業者など	機械導入等による生産の効率化を図る取組を支援
	遊休地有効利用対策事業	R5～R7	夕張メロン生産者	蜜源となる緑肥作物を作付する取組を支援
多様な担い手等の確保・定着	雇用労働力確保緊急対策事業	R5～R7	農業振興協議会	雇用労働力の確保を図る取組を支援
	新規就農者育成総合対策事業	R5～R7	認定新規就農者	経営発展の取組や資金面を支援
活力ある農村づくりの推進	多面的機能支払交付金事業	R5～R7	地域資源保全協力会など	地域の共同活動を継続するための取組を支援
鳥獣被害対策の強化	鳥獣被害防止総合対策事業	R5～R7	南空知広域鳥獣被害防止対策協議会	有害鳥獣の捕獲等の取組を推進
	夕張市鳥獣被害防止対策事業	R5～R7	北海道猟友会夕張支部	捕獲の促進や捕獲従事者の育成・確保を図る取組を支援